

## 消防団員インタビュー



川柳分団分団長

ふじ なみ かず お  
藤浪一男さん

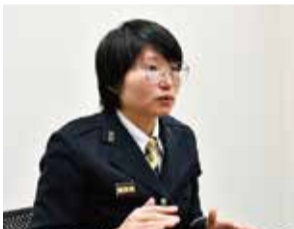
私は、消防団は大規模災害のときに地域住民のために動ける組織だと思っています。みんな本業があるので、参加できるときに参加すればよいという考えで活動しています。覚えることはたくさんありますが、活動を通して先輩から教わり、自分で実践する。これを繰り返すうちに、10年程度で必要なことはすべて身に付きます。一人でも多くの団員に自分が覚えてきたノウハウを伝えて、災害に強いまちを作りたいです。



さくら分団第1部班長

やま ざき のり こ  
山崎智子さん

防災においては、高齢の方や障がいのある方、妊婦さんなど災害弱者と言われる方への配慮が欠かせません。さくら分団の意義は、そこに女性の視点を入れられる点だと感じています。興味がある方は、ぜひ一緒にやってみませんか。私も入団前は不安でしたが、入団後は地域の知り合いが増え、かけがえのない仲間ができて世界が広がりました。お子さんがいる団員もいます。まずは気軽に参加してみてください。



学生機能別団員

ひさ だ さえ  
引田彩恵さん

消防団には近づき難いイメージがあるかもしれませんが、防災は誰でも学べるし、自分や地域のためになります。どんな動機でも、始めてみると大きな力になるので、多くの方に一度チャレンジしてみてください。



## 消防団員募集中!

詳しくは  
こちら▶



### 活動内容

- 男性…消火、警戒パトロール、救助・避難誘導、各種訓練・研修、広報・PR
- 女性…応急手当指導、避難所運営補助(大規模災害時)、各種訓練、広報・PR
- 学生機能別団員…避難所運営補助(大規模災害時)、各種訓練、広報・PR

### 対象

市内在住・在勤・在学または市内の大学等に通学する18歳～50歳の方  
\*詳しくは市ホームページをご覧ください

## 消防局からのお知らせ

**令和4年の119番通報件数、救急出動件数、搬送人数が過去最多!**  
**適正利用にご理解・ご協力をお願いします**

### 119番通報

**119番通報件数：2万6,660件(前年比5,108件増)**  
**1日あたり約73件、およそ20分に1件**

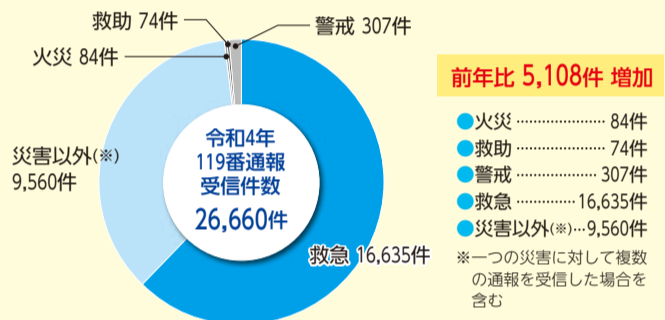
119番通報の中には、緊急性のない問い合わせなども含まれており、災害時や一刻を争う事態への対応に支障を来すおそれがあります。



指令センターで通報を受信

また、「救急車のサイレンを鳴らさないで来てほしい」との要望がありますが、緊急出動中は、サイレンを鳴らし、赤色灯をつけなければならないと道路交通法で定められています。ご理解をお願いします。

### 令和4年の119番通報受信状況

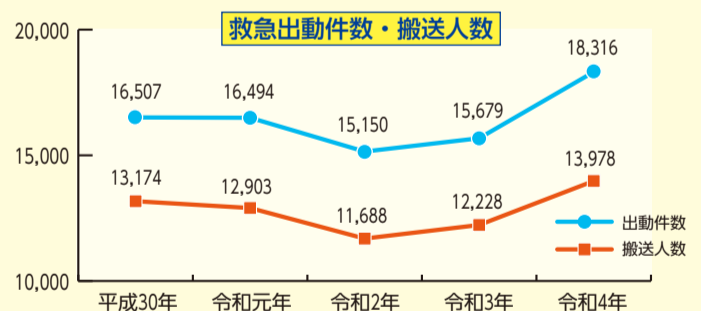


☎指令課 974-0101

### 救急車

**救急出動件数：1万8,316件(前年比2,637件増)**  
**1日あたり約50件、およそ29分に1件**  
**搬送人数：1万3,978人(前年比1,750人増)**

消防局では、通常8台の救急車を運用しています。すべての救急車が出動した場合には、非常用救急車を稼働させ、10台の救急車に対応しています。



☎救急課 974-0107

## 応急手当講習会 上級救命講習

- ▶日時：3月12日(日)、9:00～17:00(eラーニング受講修了者は10:00～17:00)
  - ▶会場：消防本庁舎4階講堂
  - ▶内容：心肺蘇生法・AEDの使用法など
  - ▶対象：市内在住・在勤・在学中で中学生以上の方20人
  - ▶受講料：無料
  - ▶申込み：2月15日(水)～28日(火)に電子申請または電話で消防署へ(9:00～17:00。土曜・日曜日、祝日を除く)。eラーニング受講修了者、受講予定者は申し込み時にお伝えください
  - \*詳しくは、市ホームページをご覧ください
- ☎消防署 974-0136

